



越前市におけるブラジル人児童 へのオノマトペ習得支援

福井県立武生高等学校

〈研究の目的〉 児童のオノマトペ習得の支援を行い、日本語力を向上させ、日本での生活をより楽しいものにする

〈先行研究〉 ブラジル人児童は **オノマトペを苦手** とするが、
学校教育においてオノマトペは、 **学習の優先度が低い**
つまり、ブラジル人児童のオノマトペ習得には **特別な支援を要する**

〈問い〉 児童のオノマトペ習得にはどのような支援が効果的なのか

〈仮説〉 擬態語を中心とした補助教材の提供が効果的である

〈背景〉 小学校の先生が擬態語を教えるのに苦戦していたということ
教科書の補助教材が効果的であったこと(先行研究より)

〈検証方法〉

① 武生南小学校でのテスト・アンケート

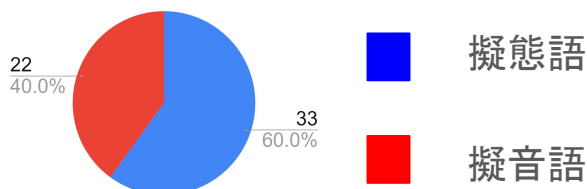
対象・・・小学生3年～6年の児童
日本人 269人 ブラジル人 21人
実施日・・・七月の第二週
(グーグルフォームで実施)

② 児童の学習の様子を観察

対象・・・ブラジル人児童 10人ほど
場所・・・大虫公民館、アルプラザ 3階
日時・・・毎週火・木・土曜日

〈結果〉 ①の調査より

ブラジル人児童の **誤答数** の内訳



②の調査より

- ・学習用の本はほとんど使われていない
- ・学校支給のタブレットを使用している様子が多く見られた
- ・タブレットには規制がかかるためアプリのダウンロードは難しい場合がある

〈考察〉

擬態語が擬音語に比べて難しいとは **言えない**
書式形式の教材よりも、**デジタルの教材** が適している
それに加え、そもそも教科書に **オノマトペを学ぶ**
単元がほとんどない

〈結論〉

検索式のWebサイト
が効果的である

Webサイトの試作品



「ちゅんちゅん」

「ちゅんちゅん」は、
すずめが、なくこえを、あらわした、
「おと」のオノマトペです。
「すずめが、ちゅんちゅんと、なく、



やさしい日本語
音やイラスト

オノマトペクイズ

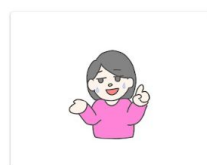
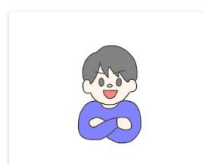
Teste sobre onomatopéia

個人差に合わせる

レベル① レベル② レベル③

「しどろもどろ」は、どっち？ *

100ポイント



〈展望〉

Webサイトを完成に近づけていくことに加えて、ブラジル人児童の教育の課題についてより知識を深めていき、彼らの生活をより豊かなものにするを目指す。